



1367 4年 「水を熱していくと」10/27・29

- 山でふっとうさせると80℃しか上がらないと聞いてびっくりしました。Aさん
- ふっとうしたら温度がそのままびっくり。Bさん
- ★ Aさん、Bさん。びっくりできる感性を大切に。
- 班の人との仲が深まりました。一つずつ仕事をもって楽しかったです。Cさん
- ★ 実験の仕事を分担して、もっと仲よくなれましたね。
- ビーカーに水滴がついていました。ビーカーは湯気が出るとくもっていたのでびっくりしました。Dさん
- ふっとう石がとびはねるのが、すごかったです。ふっとう石を入れてない時はどうめいだったのに、入れたしゅんかん白くにごったのがふしぎでした。Eさん
- ★ 白くなったのは、ふっとう石の粉が混じっていたからです。ふっとう石が熱に反応したわけではありません。でも、この変化を書いたのは、Eさんだけでした。
- ふっとう石は、どんな物で作られているのか気になりました。Fさん
- ★ 小さな穴がたくさんある素焼きの陶器。茶色の受け木鉢の欠片も使えます。
- ★ Eさん・Fさんは、自分の「？」の感じ方を大事にしました。これが大発見につながることもあります。この感じる力=感性を高めると、身の周りの自然が面白くなります。



1368 「子どものゾウを助けようとして、ゾウが11頭が墜落死」10/6

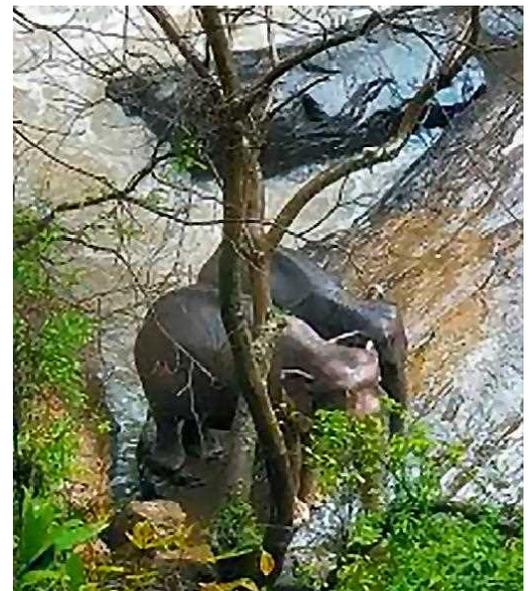
タイの国立公園の滝でゾウ11頭の死亡事故。
滝の下で立ち往生している2頭のゾウを救出。

3才の子どものゾウが滝に落ちたのを助けようと、
次々にゾウが滝に落ちて死亡。

ゾウの社会では食べる順番は「強い者から」「早く見つけた者から」でもなく「子どもから」。畑正憲・動物学者の講演で聞きました。

滝があるから、がけがある。そこから子どもゾウが落ちた。助けようと大人のゾウが、がけに殺到してして次々とゾウが滝に落ちた。「仲間を助けよう！」とする動物は、人間だけではない。

人間も仲間を助ける動物。もっと賢くできるよね？



* 三島小HPの理科レポートの更新ができなくなりましたが、理科レポート2で再開します。

